

平成 30 年度 事業報告

社会福祉法人
筑紫野市社会福祉協議会

社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会

平成30年度事業報告（主文）

『みなさん一人ひとりが福祉の主角』

少子高齢化の進行や家族形態の多様化により、地域コミュニティを取り巻く環境は大きく変化し、制度の枠組みだけでは解決困難で複合的な課題を抱えた人や世帯は増加傾向にある。

これらの問題を解決するには、住民相互による支え合い・たすけあい活動が今後の地域福祉において強く求められている。

このような中、当協議会がこれまでも推進してきた高齢者等の生きがいづくり・仲間づくりの場である、ふれあいいきいきサロンや、地域の見守りや訪問等に取り組む福祉委員活動を大きな柱としながら、民生委員児童委員並びに福祉ボランティア団体と協働・連携を図り、小地域福祉活動の推進に取り組んだ。

さらに、事業受託2ヶ年目となる生活支援体制整備事業においては、市と協働による地域包括ケアシステム構築に向けた啓発活動や、介護予防・生活支援の情報を重点的に集約した「社会資源情報誌」を刷新し、関係機関・団体等に配布を行うなど地域福祉のさらなる向上を図り、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの構築に努めた。

高齢者・障がい者・児童へのサービス事業においては、利用者本人とその家族のニーズを丁寧に把握し、情報を共有しながら利用者の状態変化に応じた適切なサービスを提供することで、当協議会の事業所が選ばれる環境づくりを行った。また、サービス従事者に対しては、適切な支援技術・資質向上を図るため、福岡県社会福祉協議会をはじめとする外部団体の研修を受講し、事業所内部における自主研修会についても積極的に開催した。

しかし、今後の課題として慢性的な福祉人材不足に対し思うような人材確保ができておらず、事業によっては十分な稼働ができない状況もあるため、離職を防ぎ働きやすい職場環境づくりを進めながら、新たな人材確保にも努めていく。

結びに、昨年は法人化50周年という節目の時期を迎え、これまで当協議会が行ってきた地域福祉推進の歴史を振り返りながら、地域福祉活動にご尽力いただいた多くの個人や団体の方々とともに、法人化50周年記念社会福祉大会を開催し、当協議会を支えて下さった皆様へ感謝の意を表するとともに、今後の展望を役職員一同で確認できる1年となった。

【1】事業内容（総務担当）

1 理事会の開催

実 施 日	回 数	主 な 議 題
5 月 30 日	1	・平成 29 年度事業報告及び決算について
10 月 31 日	2	・評議員選任候補者の推薦について
12 月 3 日	3	・職員給与規程の一部改正について ・平成 30 年度第 1 回補正予算について
3 月 13 日	4	・定款施行細則の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・平成 30 年度第 2 回補正予算について ・平成 31 年度事業計画及び予算について

2 評議員会の開催

実 施 日	回 数	主 な 議 題
6 月 20 日	1	・平成 29 年度事業報告及び決算について
12 月 12 日	2	・平成 30 年度第 1 回補正予算について
3 月 25 日	3	・平成 30 年度第 2 回補正予算について ・平成 31 年度事業計画及び予算について

3 専門委員会の開催

実 施 日	回 数	主 な 協 議 事 項
7 月 18 日	1	・法人化 50 周年記念筑紫野市社会福祉大会顕彰候補者(案)について（総務委員会）
12 月 3 日	1	・評議員の選任について（評議員選任・解任委員会）
2 月 25 日	1	・平成 31 年度事業計画（案）について（合同専門委員会）

4 福祉会員加入の促進

年 度 区 分	平成 30 年度		平成 29 年度		平成 28 年度	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
一般会員 (1 口、250 円)	14,350	3,587,715	13,738	3,434,489	13,977	3,494,030
賛助会員 (1 口、2,000 円)	341	682,000	420	840,000	402	804,000
特別会員 (1 口、5,000 円)	195	975,000	223	1,115,000	224	1,120,000
合 計	14,886	5,244,715	14,381	5,389,489	14,603	5,418,030

5 寄付金の状況

年 度 区 分	平成 30 年度		平成 29 年度		平成 28 年度	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
一般寄付	14	519,728	11	452,431	13	1,372,381
香典返し	18	895,000	15	1,460,000	19	1,547,000
指定寄付	10	628,500	6	377,216	1	50,000
合 計	42	2,043,228	32	2,289,647	33	2,969,381

6 貸付事業

年 度 区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
生活福祉資金貸付 (件)	91	93	103

7 結婚相談事業

年 度 区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
結 婚 相 談 事 業 (件)	462	410	500
成 婚 件 数 (組)	1	2	1

8 お見合いパーティーの実施 (結婚相談事業)

- ・ 第1回目 平成30年10月13日(土) 男性15名、女性15名参加
- ・ 第2回目 平成31年2月16日(土) 男性14名、女性16名参加

9 移送サービス事業

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で歩行が困難な方を対象に、自宅から病院等への送迎を行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
年間利用者延人数 (名)	17	20	34
月平均利用者延人数 (名)	1	2	3

※利用者の減少や移送車両の老朽化、また介護タクシー等他制度利用増に伴い令和元年6月末で廃止

10 老人福祉センターの運営（利用状況）

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者総数（名）	68,759	71,248	72,001

※敬老の日無料開放…………… 平成 30 年 9 月 17 日 利用者数 161 名

※カミーリヤフェスタ（台風のため中止）

老人福祉センター無料開放… 平成 30 年 9 月 30 日 利用者数 177 名

11 共同募金事業への協力

年 度 募金実績額	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
戸別募金（円）	10,239,921	10,299,147	10,978,005
法人募金（円）	2,221,691	2,269,802	2,404,837
イベント募金（円）	413,643	295,155	275,221
そ の 他（円）	2,623,349	2,029,945	2,094,129
合 計（円）	15,498,604	14,894,049	15,752,192

※ 上記表中その他の内容 ⇨ 職域募金、募金箱募金、自販機収入、街頭募金
団体募金、個人募金、学校募金

12 機関誌（福祉だより）の発行

- ・ 4 回発行 全戸配布

13 法人化 50 周年記念社会福祉大会

- ・ 11 月 17 日 筑紫野市文化会館（参加者 320 名）

14 その他

- ・ 研 修 ⇨ 8 月 20 日 市区町村社協会長・局長研修
⇨ 2 月 21 日 市区町村社協会長・局長研修
- ・ 実習受入 ⇨ 8 月 16 日～9 月 19 日 社会福祉援助技術現場実習（大学生 4 名）

【2】事業内容（地域福祉担当）

1 ふれあいいきいきサロン活動の支援・助成

- ・ 実施箇所 90 箇所（高齢者 72 箇所、障がい者 3 箇所、子育て 15 箇所）
※休会中は除く（高齢者 4 箇所）
助成箇所 86 箇所
- ・ サロン訪問支援回数 延べ 123 回
- ・ レクリエーション用具の貸し出し 延べ 146 件

2 ふれあいいきいきサロン連絡会

- ・ 実施日 ⇨ ① 6月25日 131名 ② 10月30日 111名
③ 1月28日～2月1日 138名
※各コミュニティセンター毎での開催
- ・ 内 容 ⇨ ①・㈱トーニン「音楽健康促進教室」
・サロン活動に役立つアレコレ教えます！
②・サロン運営について～サロンについて考えよう～
・サロンプログラムなどの紹介
③・サロン運営について～ご近所サロンで集ってみよう～

3 福祉委員制度の推進

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 研修等

1. 新任者研修会

実施日 平成30年4月23日（月）13：30～15：30
会 場 カミーリヤ視聴覚室
テーマ 福祉委員活動について 他
講 師 筑紫野市社会福祉協議会総務課地域福祉担当
参加者 40名

2. 第1回研修会

実施日 平成30年6月8日（金）13：30～15：30
会 場 生涯学習センター さんあいホール
テーマ 地域支え合い活動と地域包括ケアシステム
講 師 ご近所クリエイター 酒井 保 氏
参加者 151名

3. 第2回研修会

実施日 平成30年11月17日（土）13：30～16：00
会 場 筑紫野市文化会館

テーマ 誰もが住みやすい地域づくり～地域の耕し方とは～
 講師 豊中市社会福祉協議会福祉推進室長 勝部 麗子 氏
 参加者 107名

4. 第3回研修会

実施日 ①平成31年3月8日（金）10:00～12:00
 ②平成31年3月8日（金）13:30～15:30
 ※同一内容の研修会を午前・午後に分け2回実施
 会場 生涯学習センター 視聴覚室
 講師 筑紫女学園大学 大西 良 氏
 テーマ 子ども食堂の取り組みについて
 参加者 ①66名 ②56名

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
福 祉 委 員 数 (名)	190	190	188
福祉委員設置済行政区数	77	78	77

※ 数字は、毎年3月末日の実績です。

4 筑紫野市民生委員児童委員連合会への協力・支援

民生委員児童委員、主任児童委員が、地域福祉の担い手として十分に実践活動を行うことが出来るよう研修会の開催や関係機関との連絡調整、組織運営のための理事会、定例会、部会の開催支援を行った。

5 介護者のつどいの開催

- ・ 内 容 筑紫野市及び近郊に在住の介護者同士の介護に関する情報交換や交流の場として、筑紫野市介護を考える家族の会と協働で介護者のつどいを開催。
- ・ 実施日 ⇄
 - ①5月8日 … 参加者 133名
 「なぜ今、在宅医療なの？～安心して自宅で治療を受けるために～」
 講師：筑紫医師会在宅医療・介護連携支援センター
 相談員（看護師）・主任ケアマネジャー 白武 糸織 氏
 相談員（社会福祉士）田代 麻梨 氏
 - ②7月10日 … 80名
 「薬の正しい飲み方と管理」
 講師：かなおか薬局管理調剤師 金岡 正蔵 氏
 - ③9月11日 … 113名
 「最新の認知症ケアと予防」
 講師：麻生教育サービス(株) 介護福祉士 田口 幹生 氏
 - ④11月13日 … 68名
 「適切な排泄ケア」
 講師：おむつフitter・介護福祉士・管理栄養士 待鳥 伸司 氏

⑤1月15日 … 92名

「医療・介護保険の現状」

講師：筑紫野市役所高齢者支援課 森田 薫 氏（介護保険担当）
中島 美幸 氏（高齢者福祉担当）

⑥3月12日

「リフレッシュバスハイク」

視察先：総合ケアセンター たいめい苑（熊本県玉名市）

6 障がい児者クリスマス会

- ・ 実施日 ⇨ 12月8日（土）
- ・ 内 容 ⇨ 学生ボランティアスタッフの協力を得て、市内在住の障がい児者とその友人・家族を対象に、相互の交流クリスマス会をカミーリヤ多目的ホール等にて実施した。

* 一般参加者…………… 22名

* 学生スタッフ…………… 7名

* のため音楽隊（ボランティア）… 28名

計 57 名

7 小地域福祉活動説明会

- ・ 実施日・場所 ⇨ 7月19日 … 御笠地区福祉委員研修会
- ・ 内 容 ⇨ 地域住民への小地域福祉活動への参加協力を呼び掛けるため、要望のあった行政区等に対して、社協事業や小地域福祉活動の説明会（90分程度）を実施した。

8 手話奉仕員養成講座

- ・ 内 容 ⇨ 聴覚障がいに対する理解と社会参加への協力の輪を広げていくことを目的に手話講座を行った。

講師 筑紫野市聴覚障害者協会

助手 筑紫野市手話の会

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
実施日・回数	5月8日～3月12日 (火・金曜日 46回)	5月9日～3月13日 (火・金曜日 46回)	5月10日～3月14日 (火・金曜日 46回)
受講者（名）	29	32	26

9 分野別入門ボランティア講座

①入門拡大写本ボランティア講座

- ・ 実施日 ⇨ 5月25日（金）、6月1日（金）、6月8日（金）（全3回）
- ・ 参加者 ⇨ 3名
- ・ 内 容 ⇨ 拡大写本作成の基礎的な技術・知識を習得し、視覚障害についての理解を深めた。

講師 ボランティア団体拡大写本うさぎ

②入門点字ボランティア講座

- ・ 実施日⇨5月9日、16日、23日、30日、6月6日、13日（全6回）

- ・ 参加者⇨7名
- ・ 内 容⇨点字の基礎と初歩的な点訳技術を習得し、視覚障がいに対する理解をふかめることを目的に講座を開催
講師：筑紫野市点字教室

③入門朗読ボランティア講座

- ・ 実施日⇨11月5日、9日（全2回）
- ・ 参加者⇨16名
- ・ 講 師⇨元TNCアナウンサー 林 欣子 氏
- ・ 内 容⇨朗読ボランティアに関する初歩的な知識を学び、視覚障がいに対する理解を深めることを目的に講座を開催
協力：朗読ボランティアさくら会

10 ボランティア活動保険加入助成事業

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
加 入 者 数	1,853 名	1,646 名	1,633 名

11 ちくしの子育てサロン「ふれんずひろば」

- ・ 実施日 ⇨ 第1回 5月2日 …… 参加者 100名（保護者42名）
第2回 7月3日 …… 台風のため中止
第3回 10月26日 …… 参加者 207名（保護者94名）
- ・ 内 容 ⇨ 未就学児を持つ保護者同士の情報交換の場として、ボランティア団体と協力しカミーリヤ多目的ホールにて子育てサロンを開催。

12 サマーボランティアスクール

- ・ 内 容 ⇨ 子どもの頃からボランティア活動を行うことで、ボランティアについての理解や関心を深めてもらうことと世代間交流を目的に実施
- ・ 実施回数及び参加人員
* サマーボランティアスクール ① 7月26日 ② 8月9日
③ 8月20日～21日
* スタッフミーティング…………… 毎週水曜日（7回）
運営ボランティアスタッフ9名
* 参加者…………… 小学4年生から中学3年生 20名

13 福祉ボランティア団体助成事業

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 内 容 ⇨ 福祉ボランティア団体の自主性の育成、活動の活性化の支援などのために筑紫野市ボランティア連絡協議会の加入8団体に対して、活動費等の助成を行った。

14 筑紫野市地域福祉計画等推進委員会の開催

- ・ 実施日 ⇨ 11月26日
- ・ 内 容 ⇨ 平成29年度における筑紫野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗状況の報告を行った。

1 5 福祉機器貸出事業

- ・ 実施日 ⇄ 通年
- ・ 内 容 ⇄ 介護用品の無料貸し出しを行った。(※ 但し、要介護認定を受けている方は介護保険を優先させる。)

年 度 福祉機器名	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
車 イ ス (件)	91	128	171
浴 槽 内 イ ス (件)	1	0	4
介護支援ベッド (件)	7	4	5
浴 槽 手 す り (件)	9	0	5
歩 行 器 (件)	1	1	5
シャワーチェア (件)	6	4	28
エ ア マ ッ ト (件)	1	11	17
ポータブルトイレ (件)	13	18	16
貸 出 総 合 計 (件)	129	166	251

1 6 行事用機器貸出事業

- ・ 実施日 ⇄ 通年
- ・ 内 容 ⇄ 行事用機器の無料貸し出しを行った。

年 度 福祉機器名	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
綿 菓 子 機 (件)	13	25	28
ポップコーン機 (件)	19	19	26
催事用テント (件)	10		

【3】事業内容（暮らしのサポートセンター担当）

1 暮らしのサポートセンター事業（福祉サービス利用援助事業）の推進

- ・ 内 容 ⇨ 判断能力が不十分なために日常生活に支障がある方を対象に「暮らしのサポートセンター」による福祉サービス利用援助（日常的金銭管理等）・相談事業・法人後見などを実施し、誰もが安心して地域の中で生活が続けられるよう支援を行った。また生活保護受給者を対象とした日常生活自立支援事業（福岡県社協委託）も引き続き実施した。

（日常生活自立支援事業／福岡県社協受託）

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
契 約 件 数 （件）	35	30	28
訪問支援件数（延件数）	872	610	376

（暮らしのサポートセンター事業）

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
契 約 件 数 （件）	53	41	34
訪問支援件数（延件数）	1,012	735	511

（法人後見事業）

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
受 任 件 数 （件）	4	2	1
訪問支援件数（延件数）	144	95	55

※平成 26 年度より法人後見事業体制整備、平成 28 年度より受任開始。

2 不登校支援事業

- ・ 内 容 ⇨ 不登校の不安や悩みを共に考えていくことを通して、保護者自身が家庭におけるわが子とより良い関係を再構築できるように支援するサポーターの養成や不登校の基本的理解を促し、適切な子どもへの対応などを学びながら、家族が明るく元気に暮らせることを目指す講演会を実施した。
講師：長阿彌 幹生 氏（教育文化研究所代表）

(不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座)

年度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
実施日・回数	平成 30 年 12 月～平成 31 年 2 月 (隔週火曜日・6 回)	平成 30 年 1 月～3 月 (隔週火曜日・6 回)	平成 29 年 1 月～3 月 (隔週火曜日・6 回)
受講者延人数 (名)	81	34	50

(不登校に悩む保護者支援サポーターフォローアップ講座)

年度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
実施日・回数	通年 (毎月第 2 金曜日・12 回)	通年 (毎月第 2 金曜日・12 回)	通年 (毎月第 2 金曜日・12 回)
受講者延人数 (名)	103	82	121

(不登校講演会)

年度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
実施日	7 月 8 日 (日) 2 月 24 日 (日)	5 月 28 日 (日) 1 月 28 日 (日)	12 月 11 日 (日)
参加者 (名)	100	58	22

3 天拝いこいの館の運営

年度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
開館日数	263	258	281
足湯利用者数 (名)	2, 194	2, 160	2, 363

※漫談ライブ (ナオユキ氏) 平成 30 年 9 月 7 日 参加者数 39 名
 ※交流餅つき 平成 30 年 12 月 15 日 参加者数 55 名
 ※クリスマスコンサート (長谷川万大氏) 平成 30 年 12 月 16 日 参加者数 44 名
 ※落語独演会 (柳家さん光氏) 平成 31 年 2 月 8 日 参加者数 37 名
 ※お花見コンサート (深町宏氏) 平成 31 年 3 月 9 日 参加者数 32 名

【4】事業内容（介護保険課）

1 コミュニティヘルパー派遣事業（独自事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、高齢者や障がい者、また突然の事故や病気で日常生活に手助けが必要になった方に対し、ホームヘルパーを派遣して、適切な家事援助や軽介護サービスを提供し、在宅生活の支援を行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者実人数月平均（名）	5	6	7
年間利用者延人数（名）	91	142	287
年間利用者延人数月平均（名）	8	12	24

2 居宅介護支援事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられた利用者に対してケアプランまたは予防プランを作成してサービス事業者との調整を行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
月平均介護保険ケアプラン作成数（件）	85	68	72
年間介護保険ケアプラン作成数（件）	1,019	812	861
月平均介護予防ケアプラン作成数（件）	27	24	28
年間介護予防ケアプラン作成数（件）	321	293	335
年間ケアプラン総作成数（件）	1,340	1,105	1,196

※（ケアマネージャー数） （7名） （4名） （4名）

3 訪問介護事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランまたは予防プランで訪問介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、生活援助・身体介護・相談助言のサービスを行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者実人数月平均（名）	90	85	87
年間利用者延人数（名）	7,907	7,467	8,244
年間利用者延人数月平均（名）	659	622	687

4 訪問入浴介護事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランで訪問入浴介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者実人数月平均（名）	2	2	2
年間利用者延人数（名）	240	147	123
年間利用者延人数月平均（名）	20	12	10

5 障害者等居宅介護事業（障害者総合支援法事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で身体障がい、知的障がいのある方（児童を含む）、精神障がいのある方のお宅にホームヘルパーを派遣し適切な家事及び介護等の日常生活の支援を行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者実人数月平均（名）	49	45	47
年間利用者延人数（名）	3,788	3,599	3,944
年間利用者延人数月平均（名）	316	300	328

6 入浴サービス事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、重度の身体障がいのため自宅での入浴が困難な方に対して入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者実人数月平均（名）	4	4	4
年間利用者延人数（名）	453	464	472
年間利用者延人数月平均（名）	38	39	39

7 訪問型サービスA派遣事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市介護予防・日常生活支援総合事業における、要支援認定もしくは事業対象者に対して、住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう生活援助のサービスを行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者実人数月平均（名）	11	12	
年間利用者延人数（名）	270	327	
年間利用者延人数月平均（名）	23	27	

8 「食」の自立支援事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、虚弱な高齢者若しくは心身に障がい有する方に対して、夕食の提供及び、一人暮らし高齢者の安否確認を目的として弁当配達を行った。また、ふれあいいきいきサロンの開催をお知らせするなど地域福祉活動との連携を図った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者実人数月平均（名）	150	147	144
年間総利用食数（食）	37,239	36,692	35,790
利用食数月平均（食）	3,103	3,058	2,982
利用食数1日平均（食）	102	101	98

【5】事業内容（施設課）

1 生活介護事業

- ・ 内 容 ⇨ 個別支援計画に基づき、利用者に応じた介助・支援を行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
契 約 者 数(名)	20	21	22
年間利用者延人数(名)	3,203	3,369	3,519
年 間 開 所 日 数(日)	240	239	240
1 日 平 均 利 用 者 数(名)	13	14	15

2 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

- ・ 内 容 ⇨ 夏休み等長期休暇中の障がい児を対象に、生活の安定を図り、自立や社会参加のための支援を行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
契 約 者 数(名)	18	26	31
年間利用者延人数(名)	202	236	318
年 間 実 施 日 数(日)	49	50	45

3 児童発達支援事業所「ちくしのスマイルキッズ」事業

- ・ 内 容 ⇨ 心身の発達において特別な配慮が必要と思われる未就学児に対し、基本的生活習慣の自立が図れるように、個別及び集団による日常生活に必要な機能訓練や生活指導を行った。

年 度 項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
契 約 者 数(名)	35	27	14
年間利用者延人数(名)	1,081	1,039	537
年 間 実 施 日 数(日)	238	224	187

4 お楽しみ食事会（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 食事を通じての楽しみづくりとして、季節にあった食事会を実施した。
- ・ 実施日 ⇨
 - ・ 7月18日 夏祭り：たこ焼き、そうめん流し
 - ・ 10月26日 ハロウィン：かぼちゃプリン
 - ・ 11月12日 バーベキュー：さんま、ウィンナー、きのこ等
 - ・ 2月6日 バレンタイン：チョコフォンデュチーズケーキ

5 季節行事活動（生活介護事業）

4月⇒お花見（桜・チューリップ・藤）、折り紙で鯉のぼり作成
 5月⇒いちご狩り、バラ見学 6月⇒アジサイ見学
 7月⇒七夕会、ひまわり見学 8月⇒ちぎり絵で風鈴飾り作成
 9月⇒ちぎり絵でお月見飾り作成 10月⇒ハロウィン、コスモス見学
 11月⇒紅葉狩り 12月⇒クリスマス会
 1月⇒正月遊び、書初め 2月⇒節 分 3月⇒雛祭り

6 社会体験親睦バスハイク（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 社会見学を通して楽しみや感動、満足感を味わい、経験の幅を広げ社会参加や自立を高める。
- ・ 実施日 ⇨ 6月29日（金）
- ・ 行き先 ⇨ 肥前さが幕末維新博覧会（佐賀市方面）
※実施日に記録的短時間大雨情報が発表されたため中止

7 地域社会参加（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 地域の方や市内各団体、グループの方、福祉関係の大学生とのレクリエーションを通して交流を図り、障がい者福祉への理解を図り交流を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 11 月 20 日（火）
- ・ 行き先 ⇨ 筑紫女学園大学
参加者数……利用者 6 名

8 もちつき大会（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 九州電力株式会社福岡南営業所職員ボランティア等との交流を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 12 月 7 日（金）
参加者数⇨利用者 14 名

9 遠足（児童発達支援事業）

- ・ 内 容 ⇨ 社会のルールを学び、季節の変化を感じられる園外療育として遠足を行い、家族間の交流を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 10 月 16 日（火） 18 日（木）
- ・ 行き先 ⇨ 久留米鳥類センター
参加者数…利用児童・家族 11 組